

文体における視覚的文体素の役割：

Twitter ユーザを対象とした文体パロディ中の絵文字を例に

にしむら あやか
西村 綾夏

京都大学大学院

ayaka.nishimura.jp@gmail.com

キーワード：文体、パロディ、SNS、視覚的文体素、絵文字

1. はじめに

本稿では、文体パロディにおける絵文字の分析を通し、これまでの文体研究においてあまり議論がなされてこなかった視覚的文体素の重要性を指摘する。

なお本稿における文体とは、小池 (2005) の定義する「メッセージの効率的伝達を考えて採用される、視覚的文体素（文字・表記）」と意味的文体素（用語・表現）とによる言語作品の装い、または、装い方」をさす。小池の定義によれば「視覚的文体素」とは「漢字（正字・略字・俗字）、ひらがな（変体がな）、カタカナ、アルファベット、ギリシア文字、キリル文字、ハングル、アラビア数字、ローマ数字、振り仮名・送り仮名・仮名遣い、それに疑問符、感嘆符、句読点などの各種記号や改行・空角・余白、文字の大小等」をいい、「意味的文体素」とは「言表態度（モダリティ）、話し言葉・書き言葉、共通語・方言、漢語・和語・外来語・外国語、古語・新語、完全語形語・省略語、雅語・俗語・隠語・流行語、男言葉・女言葉、老人語・幼児語、慣用句、引用句、文長、表現技法（レトリック・視点等）、ジャンル（物語・小説・実録・記録・日記等）」をいう。

文体を分析する手段としては、著名な作家を対象とし、その人物史や時代的背景をヒントとして紐解く方法（小池 2005）、計量的な観点から文体の特徴を捉えようとする方法（工藤ら 2011, 佐藤ら 2009, 村上 2004）などがある。しかしこれらは主に意味的文体素の検討に留まり、視覚的文体素について分析した研究はほとんど見られない。本稿で扱う絵文字は、書き言葉において欠落するパラ言語的情報（表情、声のトーン、ジェスチャー等）を補い、メッセージに対する話し手の態度を表明する（Evans 2017）点で意味的文体素の一種であるが、漢字・ひらがな・カタカナ等と並べて使用される視覚的文体素の一種でもある。本稿では文体パロディ中に現れる絵文字の分析を通して、文体研究においては意味的文体素だけでなく視覚的文体素を分析することの重要性について論じる。

本稿の構成は次の通りである。2 節ではまず、文学的観点からの文体研究、および計量的観点からの文体研究の手法について確認し、その問題点を指摘する。さらに、構文文法の枠組みから文体（スタイル）を扱った Östman (2005) と Antonopoulou and Nikiforidou (2011) の主張を踏まえ、文体研究においてパロディを扱うことの重要性について述べる。加えて、絵文字を含んだ文体パロディの具体例を挙げ、絵文字の性質とその利用目的、文体パロディにおける絵文字の役割について整理する。3 節では実際に文体パロディ中で用いられる絵文字を分析し、パロディにおいては絵文字の選定・使用規則が模倣対象となっている点、ただしその使用ストラテジーに関しては、パロディ特有の誇張が見られる点を指摘する。4 節ではこれらの点を踏まえ、文体パロディにおいて絵文字の模倣が意味することについて論じる。最後に 5 節では、今後の文体研究の展望を述べて議論をまとめる。

2. 先行研究

文体パロディの分析に入る前に、まずは文体、および絵文字に関する先行研究を概観する。以下では、2.1 節で文学的観点・計量的観点からの文体研究、2.2 節で理論言語学（構文文法理論）の観点からの文体研究について述べる。続く 2.3 節では絵文字の性質に関する先行研究を概観し、2.4 節ではタレント「叶姉妹」のブログとその文体パロディの例を挙げながら、絵文字の使用には規則性が見られること、文体パロディにおいてはその規則が模倣されることを簡単に確認して分析への導入とする。

2.1 文学的文体研究と計量的文体研究

文学的観点から文体を扱ったものとしては、小池 (2005) による二葉亭四迷『新編 浮雲』の文体分析などがある。『新編 浮雲』は言文一致体で書かれた小説の先駆けであるが、小池は (i) 小説の冒頭が「千早振る」という枕詞で始まっている（＝古典的なスタイルを取っている）点 (ii) 擬人法や誇張法など「欧文脈のレトリカルな表現」が使用されている点に着目し、『新編 浮雲』は完全な言文一致体ではないと主張している。そしてその原因については、(i) 『新編 浮雲』が出版された際には、箔をつけるため、二葉亭四迷の名ではなく坪内逍遙の名で売り出されたから (ii) 小説が書記言語で書かれる以上、「言」と「文」が一致することはありえないと二葉亭四迷自身が気付いたから としている。

このように、文学的観点からの文体分析は出版（流通）の事情や書き手の心情を手掛かりとして行われる。しかし、本稿で扱うようなアマチュアの書き手に対しては、この方法を採用することはできない。

計量的観点から文体を扱ったものとしては、工藤ら (2011) による村上春樹の作風変化

に関する研究などがある。工藤らは村上春樹の長編作品12作を対象に、用いられている品詞と用いられている語の意味カテゴリを分類し、クラスタ分析を行うことによって、作風変化の時期と原因を分析している。そして分析の結果、村上の作風は前期・中期・後期という三期に区分することができ、そのうち中期・後期の区分は黒古(2007)の主張する「95年転向説」と一致することを報告している。

計量的観点からの文体分析は、工藤らによる研究の他にも、星新一のショートショートを分析した佐藤ら(2009)などがあり、近年盛んな分野である。しかし、分析にはまとまった量のテキストデータが必要となり、本稿で扱うようなSNSユーザの個人文体分析には不向きである。加えて、本稿で分析の中心となる視覚的文体素に関しては踏み込んだ議論が見られない。

2.2 理論言語学の枠組みにおけるディスコース分析とパロディ

以上では文学的観点・計量的観点からの文体研究について確認し、これらの手法がアマチュアの書き手には不向きであること、視覚的文体素を扱った研究がみられないことについて指摘した。これらを踏まえて本節では、理論言語学(構文文法)の観点から文体(スタイル)を扱ったÖstman(2005)の研究を確認する。

Östman(2005)は、ディスコース等の理解において視覚的要素が果たす役割は大きいとし、その根拠として、以下のような例を挙げている。

SDKJD JSJDKSJDD JDDSSK J
 2 tbl fdjkfjd
 2½ dl lkfdlkjf sdjklfdsjkl
 30 g kjdfsjsklfdiop
 Asälkfj V-IMP oksd jfdkfsj dsklfj dfjsd fjsdfjsfj
 söä df kskflsdlkfd V-IMP dsfkdsf kdfkd fkdskdsfl
 öls kd V-IMP flösd kfsdl kfsfksfk s dlfk IMP äd f
 sö ldkfs dlkflösdksföf s fks dlfskd IMP sdl kfsd ui
 lsdks fsdk flsd V-IMP dfksd k fsdfk dslfk lfkds fk.
 Eighr ds oi hhre e mmmmererp ppfde V-IMP-Neg.

図1 レシピの構成体 (construction) における視覚的レイアウト (Östman 2005: 132)

この例で示されているのはレシピの構成体 (construction) である。ただし、テキストは無意味な文字列から構成されている。

ところがテキストの受け手は、これがレシピというジャンルのテキストであるという点

だけでなく、1行目がレシピのタイトル、2行目～4行目が材料、5行目以降が実際の手順を表したものであるという構造までもを読み取ることができる。Östman はこの事例から、スタイルに関する知識にはテキストの内容だけでなく、テキストのレイアウトも含まれていると主張する。

Antonopoulou and Nikiforidou (2011) はこの主張を踏まえた上で、スタイルといった大きな単位の構成体を分析するにはパロディの分析が有効であるとしている。パロディとは「既に広く知られている言語作品の形式を利用して、全く別のことを述べる」形態模写の一種であり (水藤 2009)、パロディを産出、あるいは解釈するためには、テキストの書き手・受け手の双方に、そのスタイルに関する知識がなければならない (ハッチオン 1993)。この性質を利用し、文体をパロディしたテキスト (文体パロディ) を分析すれば、元となった文体について、話者がどのような知識を保有しているかを明らかにすることができると思われる。そのため本稿では文体パロディの分析を通して、文体を構成する要素のうち、比較的新しい視覚的文体素である絵文字について検討し、視覚的文体素の重要性について論じる。

2.3 絵文字の性質

続いて、絵文字の性質について述べる。一般に書き言葉ではパラ言語情報 (表情、声のトーン、ジェスチャー等) が欠落してしまうことが指摘されている (Evans 2017)。顔文字や絵文字はその欠落を補うものであるとされ、メッセージに絵文字を付与することで、友好的なムードを作り出すことができるという (廣瀬ら 2014)。さらに西川・中村 (2015) は、LINE 上でのやり取りにおいては絵文字とスタンプで機能の分担が行われている可能性を指摘しており、メッセージに絵文字を付加した場合にはメッセージが主、感情が従となるのに対し、スタンプを付加した場合には感情が主、メッセージが従となると主張する。

絵文字に関する研究は、主に絵文字の受信者側に主眼を置き、絵文字を使うことによってどのようなムードが作り出されるかという点に着目したものが多い。しかし、本稿で扱う文体パロディのように文体の構成要素として絵文字の性質を捉えた研究は管見の限り見られない。

2.4 絵文字の使用規則とパロディ

最後に本節では、実際に絵文字を含む文体パロディの実例を挙げながらパロディ中の絵文字分析の重要性について論じる。以下の例を見てみよう。

(1) ちなみに、

下のお写真は

恋する夏のコミケ♥で

人生で初めて経験いたしました

思い出の「敷き布」ですよ。🍷🌟

冬のコミケ♥では

どのような敷き布を

ファビュラスな姉が考えているのか

ワクワクいたしますよ。😍💕

(叶姉妹. 2017/11/6. Web. <https://lineblog.me/kanosisters/archives/13160707.html>)

(1) はタレントの「叶姉妹」によるブログの一部である。「叶姉妹」は女性二人組で活動している芸人であり、一般的な水準からは大きく離れた、裕福な私生活を行なっている(という設定である)。このブログにおける視覚的文体素としては頻繁な改行と絵文字の使用が挙げられるが、とくに注目すべき点は絵文字の使用規則である。

「叶姉妹」のブログにおいては、ひとつながりの文が、頻繁に改行することで数行に分けられている。そして、分かち書きをした文が終結するタイミングで句点(。)とともに絵文字が付与されている。

さらに、この日のブログタイトルが『冬のコミケ♥のワクワク💕するお支度は...🍷🌟🌟』であることから分かるように、このテキストの中心テーマは「コミケ(コミックマーケット)」であり、「コミケ」という語の直後には、文末ではないにもかかわらず〈ハートマーク〉が付与されている。したがって「叶姉妹」のブログにおいては (i) 文が終結する位置 (ii) 主題となる単語の直後 という2パターンで絵文字が使用されていることになる。

そして、以下に示す(2)は(1)をパロディしたテキストである。

(2) 叶姉妹のブログやべえ...読んでるうちにこっちもファビュラスになる

カップ麺食うぞ!が

お湯を入れると、あっという間にラーメン🍜ができるのですね。

不思議なことです。

作って下さった方に感謝して、いただきますよ💕

みたいな思考になる

(もふたん@30 日大蔵周年 (@7mofu7). 2017/7/28. Tweet.
<https://twitter.com/7mofu7/status/891061867652685824>)

この例では、「カップ麺食うぞ!」というメッセージが「叶姉妹」のブログに影響されて「お湯を入れると、(中略) いただきますよ」に変換される旨が述べられている。パロディ部分では言葉遣い（意味的文体素）だけでなく、分かち書きと絵文字の使用（視覚的文体素）も模倣されている。では、絵文字の使用規則についてはどうだろうか。

使用される絵文字のバリエーションに注目すると、(1) で示した「叶姉妹」のブログと同じ絵文字（「」「」）が使用されていることが分かる。仮に (2) 中で用いられている絵文字を、用いられている位置は変えずに「」「」などに置き換えてみると、パロディとしての容認度は低下する。したがって、文体パロディにおいては絵文字の使用／不使用だけでなく、使用する絵文字のバリエーションも文体の一部と認識されているといえる。

さらに、絵文字の生起位置に着目すると、叶姉妹に影響されたメッセージの終結部分（「いただきますよ」）には「」が付与され、「叶姉妹」の絵文字の使用規則である (i) 文が終結したことを示す目的 と一致する。また、主題となる「ラーメン」のあとには「」が付与され、こちらは (ii) 主題となる単語をマークする目的 と一致する。

(1) (2) の例からは、文体パロディにおいては、原文の言葉遣い（意味的文体素）だけでなく、改行のタイミングと絵文字の使用、および絵文字のバリエーションと使用タイミング（視覚的文体素）も文体の一部と見なされ、模倣されていることが分かる。これを踏まえて次節では、Twitter ユーザ「@tokyoxxxclub」によるツイート、およびその文体パロディをデータとして分析を行う。

3. 分析

本稿では、絵文字の使用が特徴的な Twitter ユーザ「@tokyoxxxclub」とその文体パロディをデータとし、文体において絵文字が果たす役割について論じる。なお、本稿で分析対象とするのはテキストに付与された絵文字のみであり、絵文字のみを送信する用法（「」のみのメッセージ）や、絵文字だけで文や物語を構成する用法（「」→ 映画『ラ・ラ・ランド』を表現）などは分析の対象外とする。

以下では、まず 3.1 節で「@tokyoxxxclub」のキャラクター性と絵文字の使用規則について整理したのち、3.2 節で「@tokyoxxxclub」本人と比較しながら、その文体パロディについて分析する。

3.1 「@tokyoxxxclub」の投稿

本節ではまず、「@tokyoxxxclub」の表現する〈社畜〉キャラクターと投稿の性質について述べる。そして、〈社畜〉キャラクターとしての投稿においては、絵文字使用の規則は 2

パターンに分けられることを指摘する。

3.1.1 「@tokyoxxxclub」における〈社畜〉キャラクター

「@tokyoxxxclub」とは、Twitterにおいて「社畜」を題材にしたツイートを行うことで有名となったユーザ（投稿者）である。なお「社畜」とは「会社」と「家畜」を合成した語であり、会社から生殺与奪を握られ、自由な行動を奪われた状態の社会人を家畜に例えた俗語である。「@tokyoxxxclub」のキャラクター性と「圧倒的成長」に代表されるユニークなフレーズはTwitter上で人気となり、文体パロディも活発に行われている。本稿ではその知名度と、投稿において絵文字の使用が規則的である点に着目し、分析の対象として選定した。

本節ではまず、「@tokyoxxxclub」のキャラクター性について整理する。以下の例を見てみよう。

(3) な、なんだって？😓

「三連休」だと？😓

ふ、ふざけるな👊😡👊

デキるビジネスマンなら、「13連勤」👍😓👊

「平日」と「土日祝日」と「平日」をつなげるだけで、あつという間に、13連勤ができる👊😓👊

この「圧倒的成長」の機会をみすみす逃すやつらは、「クビ」だな...👊😓👊

(東京ちんこ倶楽部 (@tokyoxxxclub). 2017/7/14. Tweet.

<https://twitter.com/tokyoxxxclub/status/885845614658965504>)

この投稿が行われたのは2017年の7月14日（金）であり、17日（月）は「海の日」で祝日である。つまり、土曜・日曜が休みである（＝労働環境のよい）会社であれば、翌日からは三連休となる。この投稿は連休直前に行われたことになるが、投稿者は連休の間も会社に行くことを推奨しており、休暇を取る人々に対して（表面上は）怒りを表明している。

これと同じく、休暇を取ることを悪と捉える投稿は数多く見られるほか、一般的に「つらい仕事」「悪い労働条件」と思われる状況をプラスに捉える投稿も多い。(4) では、「仕事が多すぎて死ぬ」という事態に対し、発想の転換を促すような発言が行われている。

(4) え？😳

「仕事が多すぎて死ぬ」だと？😓

そんなときこそ、「成長」のチャンス👏😓💡

「仕事」こそ、神様が人間に与えてくださった、最高の「プレゼント」👏😓🎵🌐

仕事が多い人は、「神様」の、期待の星なんだぞ💪😓🔥

「神に祝福されし労働者」よ！今こそ「圧倒的成長」だ👏😓👏

(東京ちんこ倶楽部 (@tokyoxxxclub). 2017/10/24. Tweet.

<https://twitter.com/tokyoxxxclub/status/923026726350815233>)

(3-4) からは、「@tokyoxxxclub」が会社・業務に対してポジティブな態度を取っているかのように読み取れる。しかし実際のところ、それは「@tokyoxxxclub」の本心ではない。他のツイートを見てみると、「生きるのに疲れた」とのみ書かれた投稿¹、「残業を強要されるほど上司をぶん殴りたくなる。これを『殺意ポイント』と呼ぶことにしよう。」²という投稿も数多く、ポジティブな態度は見せかけのものであることが分かる。つまり「@tokyoxxxclub」は、独特の言葉遣いを用いた投稿でのみ〈社畜〉というキャラクター(定延 2011)を臨時的に発動しているわけである。「@tokyoxxxclub」の投稿をフォロー(閲覧)している SNS の会員も、それを踏まえた上で投稿を解釈し、パロディを行なっている。

「@tokyoxxxclub」は、時事問題を取り入れた投稿も頻繁に行う。(5) が投稿されたのは、電機メーカーの東芝が不正会計を行っていたことが発覚し、東証一部から二部へ降格させられるのではないかという予想が立てられていた時期のことである。なお、投稿中で使われている「チャレンジ」という言葉は実際に東芝社内で使用されていた言葉であり、過剰な経営努力を強いる行為(パワーハラスメント)を言ったものである。

(5) どうしよう...会社が赤字で、東証2部に降格してしまう...😓

👍😓そんな時こそ、「成長」のチャンス👏😓✨

強い執念で、圧倒的に「チャレンジ」しよう👊😓🔥

社長が幹部を罵倒しまくって、チャレンジさせれば、「黒字化」を達成👏😓👍

東証2部降格するような会社は、ダメダメだな...👊😓👎

(東京ちんこ倶楽部 (@tokyoxxxclub). 2017/6/23. Tweet.

<https://twitter.com/tokyoxxxclub/status/878252178468515843>)

この例は(3-4)と同じく、ネガティブな状況(東証一部から二部へと降格させられそうな状況)をポジティブに解釈している。しかしその他の〈社畜〉ツイートと同じように、その解釈はやはり発言者の本心ではない。これもまた、東芝事件の背景にある「チャレンジ(=パワーハラスメント)」に対する批判的態度を示した投稿なのである。

さらに「時事ネタ」を取り込んだツイートを見てみよう。以下に示すのは、引退を表明したはずの宮崎駿監督が、再び新作映画を作るという情報が出た時期の投稿である。

(6) な、なんだって?😓

「宮崎駿が、新作つくる」だと?😓

す、素晴らしい👊😓✨

老人になっても「チャレンジ」を忘れない姿勢は、まさに、「ビジネスマンのお手本」👊😓🔥

ぼくも、負けては、いられない👊😓👍

100才まで働いて、圧倒的成長し続けるぞ👊😓🚗🚗🚗

(東京ちんこ倶楽部 (@tokyoxxxclub). 2017/6/10/28. Tweet.

<https://twitter.com/tokyoxxxclub/status/924518254806147072>)

この例でも一見、投稿者は宮崎駿監督の働きに対してポジティブな反応をしているようにも見える。しかしここで考慮しなければならないのは、宮崎駿は頻繁に引退宣言を行う

が、実際にはいつまでも引退せず、新作映画を出し続けているという事実である。この事実は必ずしも肯定的に受け入れられているわけではなく、引退宣言自体が注目を浴びるためのパフォーマンスであると批判されることも多い。したがって、このツイートも字義通りの意味ではなく、宮崎駿の引退表明に対するアイロニーであると解釈できる。

3.1.2 「@tokyoxxxclub」の文体的特徴と絵文字の使用規則

以上では「@tokyoxxxclub」のキャラクター性を確認した。続く本節では、「@tokyoxxxclub」における〈社畜〉キャラクターの文体について述べる。

「@tokyoxxxclub」の投稿は5行から7行程度で構成されている。そして、1文ごとに改行が行われ、空行が挟み込まれている。Twitterの仕様では改行は可能であるものの、そもそもの制限字数が140字と短いため、まったく改行を行わないユーザも多い。したがって「@tokyoxxxclub」のスタイルは逸脱的である。

改行以外の特徴としては、文を細かく区切るような読点(,)の打ち方、強調したい語を括弧カギカッコ(「」)の使用、および文末に付された複数の絵文字が挙げられる。とくに本稿で問題とする絵文字に関して見ると、話題の提起を行う1行目・2行目以外では絵文字が1つのみで使われることはなく、3個程度の絵文字が連なっている。また、絵文字の並びのパターンは大きく二つに分けられる。

- (7) a. 〈手・腕〉 + 〈顔〉 + (ニュアンスを付加する絵文字)
- b. 〈手・腕〉 + 〈顔〉 + 〈手・腕〉

(7a) には「👉😄🌟」「👊😭🔥」のような事例が該当する。このパターンでは〈手・腕〉のあとに〈顔〉が置かれ、そのあとに〈キラキラ〉や〈炎〉が置かれる。〈キラキラ〉や〈炎〉は〈手・腕〉〈顔〉に比べて抽象度の高い絵文字であり、〈手・腕〉 + 〈顔〉の部分(=人物を表す部分)にニュアンスを付与する効果がある。このパターンには、以下のような例も当てはまる。

- (8) 100才まで働いて、圧倒的成長し続けるぞ👉😄🚗🚗🚗

(東京ちんこ倶楽部 (@tokyoxxxclub). 2017/610/28. Tweet.

<https://twitter.com/tokyoxxxclub/status/924518254806147072> より一部抜粋)

(8) では文末に「👉😄🚗🚗🚗」という絵文字が付与されている。しかしこの投稿に〈新幹線〉や〈自動車〉は直接関係がない。したがってこの〈新幹線〉〈自動車〉はビジネスマ

ンとして忙しく働く行為を比喩的に表したものと考えられ、〈キラキラ〉や〈炎〉と同じく、ニュアンスを付加したものと分析できる。

(7b) には「👉👍」「👉👎👍」のような事例が該当する。このパターンでは〈顔〉の左右に〈手・腕〉が置かれ、ひとつの〈手・腕〉よりも複雑な意味が表現される。以下の例を見てみよう。

(9) 社長が幹部を罵倒しまくって、チャレンジさせれば、「黒字化」を達成👉👎👍

東証2部降格するような会社は、ダメダメだな...👉👎👍

(東京ちんこ倶楽部 (@tokyoxxxclub). 2017/6/23. Tweet.

<https://twitter.com/tokyoxxxclub/status/878252178468515843> より一部抜粋)

この例の1行目では「👉👎👍」という絵文字が用いられている。グーパンチの絵文字は「罵倒しまくって、チャレンジさせる」という強制の意味、親指の絵文字は「『黒字化』を達成できる」という意味を強化していると考えられ、それぞれの絵文字は一文の異なる箇所が付与されている。

同じく2行目でも、「この『圧倒的成長』の機会をみすみす逃すやつらは、『クビ』だな.....」というテキストに対して、「👉👎👍」という絵文字が用いられている。手を振っている絵文字は会社から放逐する行為(=クビ)、ブーイングをしている絵文字は「『圧倒的成長』の機会をみすみす逃す」行為に対するブーイングを表していると考えられ、やはり〈顔〉の左右に置かれた〈手・腕〉はそれぞれ文中の違った箇所が付与されていると分析できる。

以上を踏まえて「@tokyoxxxclub」の視覚的文体素を整理すると、以下のようになる。

- (10) テキストは5行～7行からなり、1文ごとに空行が挟み込まれる。
- (11) 頻繁に読点(、)が用いられる。
- (12) 強調したい語にカギカッコが用いられる。
- (13) 文末には3個以上の絵文字が用いられ、使用規則は以下の2パターンに分けられる。
 - a. 〈手・腕〉+〈顔〉+(ニュアンスを付加する絵文字)
 - b. 〈手・腕〉+〈顔〉+〈手・腕〉

ただし、再度確認しておくと、これらの特徴が見られるのは「@tokyoxxxclub」の投稿のうち〈社畜〉キャラクターとしての投稿に限られる。「@tokyoxxxclub」の本来の人格によるツイート(美術館へ行った報告等)にはこれらの特徴は現れないが、以降の節では便宜上、単に〈「@tokyoxxxclub」の文体〉として論を進める。

3.2 「@tokyoxxxclub」に対する文体パロディ

以上、3.1 節では「@tokyoxxxclub」本人の投稿を分析し、そのキャラクター性、および文体上の特徴について整理した。続く本節では、その文体パロディの分析を行う。

3.2.1 絵文字の重要性

2.3 節では Östman (2005) による事例（無意味語で構成されたレシピ）を確認し、文体における視覚的要素の重要性について述べた。ここで、本稿で扱う「@tokyoxxxclub」の文体パロディにも類似の事例が存在する。以下の例を見てみよう。

(14) 圧倒的圧倒的圧倒的圧倒的🤔💧💧

圧倒的圧倒的圧倒的👉👉！

圧倒的圧倒的圧倒的圧倒的圧倒的圧倒👉👉！！

圧倒的圧倒的圧倒的““圧倒的成長””👉👉👉👉

圧倒的圧倒的圧倒的圧倒的““圧倒的感謝””🙏🙏🙏

(もず🌸(@mzu_lov). 2017/11/3. Tweet. https://twitter.com/mzu_lov/status/926703924358213635)

この投稿の大部分は「圧倒的」という語によって構成されている。「圧倒的」以外では「圧倒的成長」「圧倒的感謝」の2語が模倣されているが、実際のところ本人は「圧倒的感謝」という語をほとんど用いない（2014年12月3日～2017年11月10日現在で13回）³。したがってこれは、パロディにおいて原文に特徴的な語・モチーフが誇張的に模倣される（西村 2017）事例であると判断できる（e.g., 村上春樹の文体における「僕」という語）。

この例において、テキストが表す意味は最小限に留まっている。しかし、テキストの受け手はこれを「@tokyoxxxclub」のパロディであると容易に判断することができる。これは、テキストが5行～7行で構成されている点、1行ごとに空行が挟み込まれている点、各行の末尾に複数の絵文字が付与されている点といった視覚的文体素が模倣されているためであり、視覚的文体素がパロディの解釈に大きく関わっていることが示されている。

さらに、末尾に付加された絵文字の役割について見てみよう。末尾の絵文字を並べてみ

ると、「😓😓😓」→「😓😓！」→「😓😓!!」→「😓😓😓😓」→「🙏🙏」となる。絵文字の表情を見ると、まず是否定的な話題を提起し（😓😓😓）、発想の転換を促し（😓😓!→😓😓!!）、自らも「成長」という宣言を行う（😓😓😓😓→🙏🙏）という流れを読み取ることができ、「@tokyoxclub」の投稿のパターンを踏襲している。つまりこの例においては、原文の内容はテキストではなく、絵文字によって表現されているのである。

また、以下の(15)では、ピースサインを表す絵文字が「✌」マークによって代用されている。

- (15) バスが過ぎた でもこれはチャンス！徒歩で通学することにより圧倒的成長✌この
ような機会をくれたバスに圧倒的感謝

(gurapula(@gurapula0804). 2017/11/9. Tweet.

<https://twitter.com/gurapula0804/status/928751703700025344>)

この例では、付与された「✌」マークを除去してもパロディの解釈は可能である。それでもなお、絵文字（の代用としての「✌」マーク）が使用されているという事実からは、「@tokyoxclub」の文体を模倣する際に絵文字の付与が義務的であることが分かる。

絵文字の重要性は以下に示す(16)からも読み取ることができる。(16)ではテキスト上の特徴はほとんど踏襲されていないものの、絵文字を複数個付与するという規則は守られている。

- (16) 冬でもシャツ2枚だった俺がコートを購入して圧倒的成長👊👊👊

(ラベメンティウス(@attackontakkan). 2017/11/9. Tweet.

<https://twitter.com/attackontakkan/status/928620438917300224> より一部抜粋)

以上の例からは、「@tokyoxclub」においてはテキストの内容だけでなく絵文字の使用も文体の一部として認識され、模倣されることが分かる。

3.2.2 絵文字の使用が不完全な例

以上で示したように、「@tokyoxclub」の文体パロディにおいては、絵文字の付与が重要となる。しかし、その使用方法に関して見ると、忠実な模倣といえないケースも多い。以下に示す(17)では「@tokyoxclub」における(13a)パターン（〈手・腕〉＋〈顔〉＋（ニュアンスを付加する絵文字））を用いているものの、〈手・腕〉と〈顔〉の順序が入れ

替わっている。

(17) 圧倒的成長🤔💪✳️

引かれない程度に話すって難しすぎい_ (_'ω`) _

(ゆに(@mumyouzoushi). 2017/11/3. Tweet.

<https://twitter.com/mumyouzoushi/status/926427332004405249> より一部抜粋)

また、以下に示す (18) の 4 行目以降では、人体を構成する部分〈手・腕〉＋〈顔〉のうち、腕部分がツルハシの絵文字へと置き換えられ、〈東工大生〉というキャラクター（常に工具を所持している状態）を表している。

(18) な、なんだって？💢🤔🤔

「目指すは意識高い系」だと？🤔🤔

ふ、ふざけるな🤔🤔💢

できる東工大生なら、「目標は"意識他界系"」へ🤔✳️

意識が他界したゆとりある生活を実現して圧倒的成長へ🤔

まだ意識他界できてないような東工大生はもう「退学」かな...👉

(tanasato(@sitstand1012). 2017/11/9. Tweet.

<https://twitter.com/sitstand1012/status/928777428947759106>)

(17-18) からは、「@tokyoxclub」のパロディにおいては絵文字の使用が義務的である点、〈手・腕〉＋〈顔〉が基本単位であることは認識されているものの、並べ方が忠実な模倣でなかったり、自らのキャラクター性を混合させたりする場合があると指摘できる。

3.2.3 絵文字の使用ストラテジー

最後に、「@tokyoxclub」のパロディにおける絵文字の使用ストラテジーについて述べる。以下に示す (19) で言及対象となっているのは、「1 年間のうち 330 日ゲーセン（ゲー

ムセンター)に通うOL」というキャッチフレーズで有名な「おくむらなつこ」氏である。(19)の投稿者はおくむら氏のキャッチフレーズを引用した上で、おくむら氏よりも熱意のあるゲーマー(ゲームファン)であるならば、ゲームセンターに一年中泊まり込むべきだという主張を展開している。

(19) 330日ゲーセンに通うOLだって? 🤔

ふ、ふざけるな 🤔😡🔪

デキる音ゲーマーなら365日24時間ゲーセン 🙌🤔👍

ゲーセンに泊まり込むことで圧倒的成長 🤔👊🔥

素晴らしい音ゲー環境に圧倒的感謝 🙏🙏🙏

(リム(@wt_si_bot). 2017/11/9. Tweet. https://twitter.com/wt_si_bot/status/928789347477938176)

(19)は一見、「@tokyoxclub」本人にかなり近いパロディである。しかし、主要な語に対してカギカッコを用いた強調を行っていない点(話題の提起に当たる「330日ゲーセンに通うOL」にすら強調が見られない)、読点(、)もほとんど使用されていない点など、本人の文体とは細かなズレが確認できる。文体における句読点の位置は、著者を推定するにあたっても有効であるとされてきた(村上 2004)が、この例に限らず「@tokyoxclub」のパロディにおいては、句読点やカギカッコの使用よりも、絵文字を付与することのほうが優先して模倣されている。

そして、とくに問題となるのは最終行、「圧倒的成長」に付与された3個の絵文字である。絵文字の使用においては、同じ絵文字を複数回使用することによって意味を強める用法がある(Evans 2017)。(19)においては、〈手を合わせる絵文字〉(＝ここでは「感謝」の意味で使用)を3個繰り返すことにより、「圧倒的感謝」の意味を強める効果をねらったものと考えられるが、「@tokyoxclub」本人は、同じ絵文字を複数回繰り返して用いることはない。絵文字の個数は本人と一致しているものの、そのストラテジーには違いが見られるのである。

絵文字を複数回繰り返す用法については、すでに示した(16)(18)にも見られるほか、以下に示す(20)でも確認できる。(20)では、投稿者は文末に絵文字を3個付与しており、そのうち〈力こぶし〉は2個繰り返して用いられている。

(20) 千葉からあずさ 3 号で圧倒的成長🤖👊👊

(あろんあるふあ(@minusa_eki). 2017/11/9. Tweet.

https://twitter.com/minusa_eki/status/928597062932819969 より一部抜粋)

さらに以下の (21) では、同じ絵文字を 3 回繰り返して用いている。

(21) 自習時間前にふとお腹すいたからコンビニまでポケモン GO しに行って圧倒的成長
👊👊👊

(ほりごし!! @(@Sesujism). 2017/11/9. Tweet.

<https://twitter.com/Sesujism/status/928611653343592448>)

「👊」「🤖」はいずれも「@tokyoxxxclub」本人が用いている絵文字である。ただしパロディにおいては、「@tokyoxxxclub」本人は用いないストラテジーが採られているのである。

4. 考察

3 節での分析を踏まえると、「@tokyoxxxclub」の文体パロディにおいては、以下のような特徴があるとまとめられる。

まず、「@tokyoxxxclub」のパロディにおいては、改行のタイミングと空行の挿入といった「視覚的文体素」の模倣が行われるケースが確認された。中にはテキストのほとんどが「圧倒的」という語で構成された例もあり、テキストの視覚的文体素がパロディの解釈に大きな影響を与えることが明らかになった。このことは、文体研究において「視覚的文体素」を検討することの重要性を示唆した。

次に、絵文字の使用に着目すると、「@tokyoxxxclub」の文体パロディにおいて絵文字の模倣は義務的であり、句読点やカギカッコ、改行のタイミング等、その他の特徴よりも優先して模倣されることが明らかになった。この事実からは、「視覚的文体素」の中でも絵文字の重要性が高いことが示された。

ただし、絵文字の使用規則に関して分析すると、文体パロディにおける絵文字の使用規則には「@tokyoxxxclub」本人との細かな相違が見られた。「@tokyoxxxclub」本人の絵文字の使用パターンは、大きく分けて二つに分かれ、両者に共通する〈手・腕〉＋〈顔〉の 2 個が基本単位であると考えられる。文体パロディにおいては、本人と同じ内訳で絵文字を付与しているものの、その並びが不完全なもの、〈手・腕〉部分に自らのキャラクター性を反映させるものなどがあり、完全に同じパターンで用いているわけではなかった。これは

「@tokyoxclub」の投稿の受け手が、いわば絵文字の文法を抽象的なレベルで認識している可能性を示唆している。

さらに、絵文字の使用ストラテジーに関して分析すると、「@tokyoxclub」本人と文体パロディの間でストラテジーの違いが見られた。絵文字においては、同じ絵文字を繰り返し用いることにより、その意味を強めることができる。「@tokyoxclub」本人はこのストラテジーを一度も使用していないが、文体パロディにおいては「@tokyoxclub」の使用する絵文字を繰り返し用いることで意味を強めるケースが見られた。これはパロディの特徴である「誇張」に一致する現象であると考えられる。

最後に、以上の考察を踏まえた上で、文体パロディにおける絵文字の模倣が持つ意味について論じる。

本稿で扱った例において、用いられる絵文字はいずれも原文の書き手と同じものであった。先行研究で指摘される通り、絵文字はそれが付与されたメッセージに対する話者の態度を表明するためのツールである。絵文字を使うか/使わないか、あるいはどのような絵文字を選択するかという決定には話者の人格が現れる (Evans 2017)。したがって、文体パロディにおいて絵文字を用いる行為、絵文字の選択を模倣するという行為は、原文の書き手の人格を模倣することを意味する。

岡田 (2004) は、パロディの働きを「話者の思考をエコーする」点にあるとしているが、文体分析においては、テキスト中のどのような要素を「話者の思考」として捉えるのか、判断が難しい場合がある。本稿で考察対象とした絵文字はその点で、分析対象として適切であり、分析の結果は、岡田の主張を支持する結果となった。

5. おわりに

これまでの文体研究においては、視覚的文体素が果たす役割についてあまり踏み込んだ議論はなされてこなかった。しかし本稿で扱った絵文字の事例からは、文体の理解において視覚的文体素が果たす役割は大きく、意味的文体素の分析だけでは文体の分析は不十分であることが示された。

近年はますます、絵文字をはじめとした視覚的コミュニケーション資源の利用が盛んになってきており、視覚的文体素の影響を考慮に入れる必要性が増している。本稿の議論は、今後の視覚的文体素研究の可能性を示すものとなった。

注

¹ <https://twitter.com/tokyoxclub/status/928250070444654592>

²<https://twitter.com/tokyoxxxclub/status/924992815939035136>

³Twitter では、投稿者が自分の投稿を削除することができるため、実際には 13 回よりも多くの「圧倒的感謝」を含むツイートが投稿されていた可能性もある。ただし、投稿者があえて「圧倒的感謝」を含むツイートのみを削除する合理的な理由はないため、ほとんどすべての〈社畜〉ツイートに含まれる「圧倒的成長」と比較すれば、「圧倒的感謝」の使用例は極端に少ないと言える。

参考文献

- Antonopoulou, Eleni, and Kiki Nikiforidou. 2011. Construction Grammar and Conventional Discourse: A Construction-Based Approach to Discoursal Incongruity. *Journal of Pragmatics*. Vol. 43: 2594–2609.
- Evans, Vyvyan. 2017. *The EMOJI CODE: How Smiley Faces, Love Hearts and Thumbs Up are Changing the Way We Communicate*. London: Michael O’ Mara.
- 廣瀬信之・牛島悠介・森周司. 2014. 「携帯電話メールによる感情の伝達に顔文字と絵文字が及ぼす影響」『感情心理学研究』22 (1): 20–27.
- ハッチオン, リンダ. 1993. 『パロディの理論』辻麻子訳, 東京: 未来社.
- 小池清治・鈴木啓子・松井貴子. 2005. 『シリーズ〈日本語探求法〉6 文体探求法』東京: 朝倉書店.
- 工藤彰・村井源・往住彰文. 2011. 「計量分析による村上春樹長篇の関係性と歴史的変遷」『情報知識学会誌』21 (1): 18–36.
- 黒古一夫. 2007. 『村上春樹「喪失」の物語から「転換」の物語へ』東京: 勉誠出版.
- 村上征勝. 2004. 『シェークスピアは誰ですか? 計量文献学の世界』東京: 文藝春秋.
- 中村明. 2016. 『日本語文体論』東京: 岩波書店.
- 西川勇佑・中村雅子. 2015. 「LINE コミュニケーションの特性の分析」『東京都市大学横浜キャンパス情報メディアジャーナル』4 (16): 47–57.
- 西村綾夏. 2017. 「『文体パロディ』から見る文体の構造—『村上春樹風に』を例に—」京都大学 人間・環境学研究科 修士論文.
- 岡田聡宏. 2004. 「パロディとアイロニー: 相違と類似の観点から」『言語・文化・社会』2: 1–25.
- Östman, Jan-Ola. 1999. Coherence through Understanding through Discourse Patterns: Focus on News Reports. In Wolfram Bublitz, Uta Lenk and Eija Ventola (eds.), *Coherence in Spoken and Written Discourse*, 77–100. Amsterdam and Philadelphia, PA: John Benjamins.
- Östman, Jan-Ola. 2005. Construction Discourse: A Prolegomenon. In Jan-Ola Östman and Mirjam

- Fried (eds.), *Construction Grammars: Cognitive Grounding and Theoretical Extensions*, 121–144. Amsterdam and Philadelphia, PA: John Benjamins.
- 定延利之. 2011. 『日本語社会 のぞきキャラくり』東京: 三省堂.
- 佐藤知恵・村井源・往住彰文. 2009. 「文学作品群の特徴的語彙と概念カテゴリーの抽出—星新一ショートショート of 計量分析—」『情報知識学会誌』19 (2): 132–137.
- 水藤新子. 2009. 「パロディの楽しみ—『雪国』を用いた和田誠による文体模写—」『国文学研究』157: 113–103.
- Wilson, Deirdre. and Dan Sperber. 1992. *On Verbal Irony*. *Lingua* Vol. 87: 53–76.

The Role of Visual Stylistic Elements in “Style”: Focusing on Emojis in a Stylistic Parody of Twitter User

Ayaka Nishimura

The purpose of this paper is to show the roles of visual stylistic elements. Previous stylistic research has dealt mainly with “what is written (content).” However, as Östman (2005) points out, “How the text is arranged (design)” greatly influences the understanding of the text. The choice of visual stylistic element is closely tied to the genre and the features of the writer of the texts. Emojis are relatively new visual stylistic element, and it is said that the choice of pictograms will express the personality of the writer (Evans 2017). Nevertheless, few studies have focused on them.

This paper compares the style of a famous Twitter user, “@tokyoxxxclub,” with the style of its parody, and discusses the role of visual stylistic elements in their production and the comprehension of parody. The analysis shows that the arrangement of the text and the use of emojis have a greater influence than do the contents of the text. In addition, the producers of the stylistic parody recognize and imitate the regular patterns of emojis observed in tweets of “@tokyoxxxclub.” In general, if such regularity of parodies is violated, the acceptability of parody declines. This paper indicates that, the analysis of visual stylistic elements is indispensable in future stylistic research.